

麻布大学ティーチング・ポートフォリオ

所属 獣医学科

職階 教授

氏名 山田一孝

麻布大学では、教育研究活動その他大学の諸活動を恒常的に自己点検・評価し、その結果を検証して改善に結び付けることにより、教育の質保証を行う観点から、各教員が『ティーチング・ポートフォリオ』を作成しています。ティーチング・ポートフォリオの構成及び更新サイクルは以下のとおりです。

1. 教育の責任・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
2. 教育の理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
3. 教育の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
4. 教育の方法の改善・向上を図る取組・・・・・・・・ 毎年
5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組・・・毎年
6. 学生の学修成果向上を図る取組・・・・・・・・・・・毎年
7. 指導力向上のための取組・・・・・・・・・・・・・・ 3年
8. 今後の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年

1. 教育の責任

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

獣医放射線学，産業動物画像診断

科目名	学科・専攻	単位種別	配当年次	受講者数(単位:人)
獣医放射線学	獣医学科	必修	2	125
獣医総合臨床実習	獣医学科	必修	5	138
産業動物獣医総合臨床	獣医学科	必修	5	130
産業動物臨床実習	獣医学科	必修	5	128
総合獣医学	獣医学科	必修	6	141
産業動物アドバンス実習	獣医学科	選択	6	1
動物内科看護学Ⅱ	獣医保健看護学科	必修	2	72
獣医放射線学特論	獣医学専攻	必修	1	1
獣医放射線学特別演習Ⅰ	獣医学専攻	必修	1	1
獣医放射線学特別演習Ⅱ	獣医学専攻	必修	2	1
獣医放射線学特別演習Ⅲ	獣医学専攻	必修	3	1
獣医放射線学特別実験Ⅰ	獣医学専攻	必修	1	1
獣医放射線学特別実験Ⅱ	獣医学専攻	必修	2	1
獣医放射線学特別実験Ⅲ	獣医学専攻	必修	3	1
獣医放射線学特別実験Ⅳ	獣医学専攻	必修	4	1

2. 教育の理念

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

国家試験合格

3. 教育の方法

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

双方向対話型の講義実習，学理およびGoogleDriveを活用した授業教材の配布

(1) アクティブ・ラーニングについての取組

有

産業動物臨床実習ではフィルムリーディングを取り入れ画像所見について学生とディスカッションを行っている。また産業動物臨床実習の症例を示して鑑別診断リストや治療方針についてディスカッションを行っている。症例検討会では、学生が自ら考えるプレゼンテーションを課している。

(2) ICTの教育活用

有

フィルムリーディングでは画像読影ビューアを整えている。

4. 教育の方法の改善・向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 教育（授業及び実習等）の創意工夫

A

実習は双方向対話型になるように授業計画を立案している。

(2) 学生の理解度の把握

A

授業評価アンケートは概ね高評価である。

(3) 学生の自学自習を促す工夫

A

暗記一辺倒に偏らない考えるレポートを課している。

(4) 学生とのコミュニケーション

A

学生からの質問には積極的に対応している。

(5) 双方向授業への工夫

A

コミュニケーションが充分にとれるよう積極的に会話を心がけている。

(6) 国家試験対策の取組（獣医学科・臨床検査技術学科）

A

獣医師国家試験の過去問を中心に総合獣医学の講義を行った。

5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 授業評価アンケート結果の授業への反映

丁寧に説明することを心がけた。

(2) (1)の結果による改善・向上の具体的な成果又は課題

授業評価アンケートは概ね高評価であった。

(3) (2)を踏まえた次年度の取組

丁寧な説明を心がける。

6. 学生の学修成果向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 現在までの学生の成績向上に資する取組及びその成果並びに今後予定している取組
暗記一辺倒に偏らない考える授業を目指している。

(2) (1) の取組を通じて改善・向上が図られた学生の学修成果並びに当該取組
に対して得られた学生及び第三者からの評価又はフィードバック

丁寧な説明を心がける。

7. 指導力向上のための取組（FD研修参加等）

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

FDには毎回出席している。

8. 今後の目標

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

国家試験合格率100%を目指すことはもとより、将来社会で活躍できる人材を養成したい。

9. ティーチング・ポートフォリオを作成する際に活用した根拠資料

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

授業評価アンケート